



# シルバーだより

No. 401  
令和6年9月1日  
荒川シルバー大学  
荒川区荒川3-49-1  
理事長 箭内忠義  
TEL 3801-5740  
FAX 3801-5691

## — 平和な世界はやってきますか —

パソコン教室講師 望月 利一

戦後79年の夏が終わった。私は戦後生まれなので、戦火ただなかの大変な時期のことは知らない。

私の父は、軍属として南方に行っていたようだが、体を壊して帰国したらしい。父からは、戦争の話は、聞いたことがない。

昭和22年、私が生まれたときは、戦争そのものは終わっていたけれど、今思えば、その爪痕は、あちこちに見受けられた。

6畳一間の居間の真ん中には電球がぶら下がっていた。その電球の傘には半分覆いがしてあった。子供たちが寝るとき、部屋を暗くするためだったようだが、空襲の時、外に光が漏れないようにしていたのだそうだ。



カット 上部博子

学校の行き帰りに、駅周辺で見かけた傷痕軍人。茶色の帽子をかぶり、痛々しい姿を見せていた。アコーディオンを引いたりして物乞いをしていた。祖母からは、「危ないから、あまり近づくんじゃないよ。」と言われていたが、子供心に、危ないとは思ったことはない。むしろ、戦争の痛ましさを感じさせた。

修学旅行で、長崎の原爆資料館を見学した。その時の展示品に衝撃を受けた。言葉では言い表せないような、瓦礫の山や呆然と立ちつくす人々の写真や遺品の数々。そして、1枚の少女の絵。真っ白い服を身にまとい、頭に白い包帯（だと思ふ）を巻いている。その少女はまっすぐ前を見ている。その透き通った目は遠くを見ているような感じだった。なぜその絵がそこにあるのかわからない。「祈り」と題されていたように記憶している。

戦後、今に至るまで、日本は直接戦争にかかわることなく過ごしてきた。平和だった。世界中どこを見てもこのような国はない。しかし、日本や世界の情勢を見ると、平和を望んでいる人々がいる一方、力で物事を主張しようとする人たちが、国家レベル、個人レベルを問わず見ることができる。

パリのオリンピックが終わった。若い選手たちが、たたかったもの同士、国や地域を超えてハグし合ってお互いをリスペクトする姿が見られた。このような若者たちに、今後の世界を任せたい。年寄りも、全力で応援しよう。

平和な世界がやってきますように。平和な世界はやってきますか。

## 《《 5月20日 令和6年度 第一回合同講義 《》》

### 1. 荒川区の安全安心と高齢者福祉について

講師 生活安全課 池杉 成弘課長

自転車事故が多いので、ヘルメット(2000円の補助あり)をなるべく着用して下さいとのこと。

講師 福祉推進課 後藤 誠課長

困った事があった場合は、包括支援センターに連絡を入れて下さいとのこと。(地域別になっています)

### 2. のこぎりサウンド演奏 のこぎりキング下田 下田 尚保先生

演目

- 1) 1月～12月までの唱歌
- 2) 真白き富士の根
- 3) 合唱 みかんの花咲く丘とふる里
- 4) のこぎり演奏体験  
(箭内理事長、加藤副学長、学生阿部さん)  
音を出すだけでも難しい
- 5) ゲゲゲの鬼太郎      6) 蘇州夜曲
- 7) 夜来香                  8) 大きな古時計
- 9) アメージンググレース 10) アロハ・オエ



**感想** 弓は馬のしっぽ 400本をまつやに束ねた物だそうです。

のこぎり演奏は合唱をするには少し無理があります。ただ、珍しい楽器で、五感で音階も覚えなくてはならないので、感楽器といいます、とのお話は興味がわきました。  
( 広報部 市川 弘美 )

## 《《 早稲田大学学生との懇談会 《》》

副学長 加藤 純成



大学の学生さん達がシルバー大学に見学に来ました。早稲田大学の学生さんで、「老いを生きる」をテーマに研究をしているので、皆さんの大学生生活の様子を知りたい…と言う事です。

しかし、予定の6月21日は合同講義の日。各教室はお休みで、みんなでサンパール荒川小ホールに集まり「中村哲さん」の映画を見て講演を聴く日でした。

4人の学生さんがやって来ました。

傘にも関わらず、200人くらいのシルバーの学生さん達が集まり、熱心に映画を見て、講演に集中している様子にびっくりしたようでした。

その後、センターに戻り、理事長・学長・役員との話し合いを持ちました。

10個以上の質問を書いた紙が出され、随分と熱心な様子でした。

○教室はいくつ、学生は何人 ○講師の人たちは… ○授業料、運営のお金はどうしているのか ○学生が高齢で心配していることは。

丁度去年に作った「40周年記念誌」を配り、これまでの歴史や現在の様子、運営の苦労などを説明しました。話し合いは2時間続きました。

しばらくして御礼のメッセージが送られてきました。発表会に向けてまとめている…とのこと。高齢者の皆さんが生き生きと学んでいることがひしひしと伝わり、大変感銘を受けた…とありました。

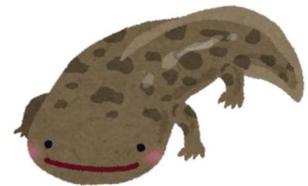
本来は、1度と言わず何回か見学に来てもらい、教室もいくつか見ていただきたいかったのですが、そこはお互いに忙しく予定もあることなので…。

---

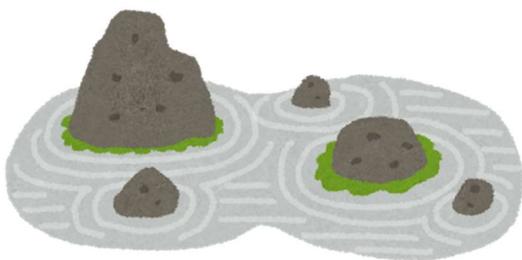
## 《《 『山椒魚』と庭石 》》

本を楽しむ教室に参加して2年目になります。クラスの大きな魅力は、自分がこれまで触れてこなかった作品に出会えること。そのたびに新しい世界の扉が開くようでワクワクします。クラスでは本だけでなくDVD鑑賞や朗読のCDを聴くこともあります。

先日は、井伏鱒二の『山椒魚』と夏目漱石の『三四郎』（一部抜粋）の朗読CDを聴きました。『山椒魚』は教科書にも採用されている有名な小説ですが、改めて聴くと無駄のない表現のなかに奥深い感情が乗っていて、文章の巧みさに驚かされます。



思わず「うまいなあ」と唸っていると、隣に座っていた仲良しの雫石さんが「井伏はねえ、最後までこの小説に手を入れていたんだ」と教えてくれました。さっそくウィキペディアで調べると、「今でもべつにお前のことをおこつてはゐないんだ」といういちばん最後のくだり、蛙との和解が85年版自選全集では削除されたとありました。手を入れた井伏鱒二の心境はうかがい知れませんが、あたかも枯山水庭園の石をいじるがごとく、少しの変更が全体に及ぼす影響の妙を面白がっていたのかも知れません。



( 本を楽しむ教室 小磯 紀子 )

9月の行事について

期 日	<h2 style="margin: 0;">第三回 合同講義</h2>
27日  (金)	<p style="text-align: center;">「♪ 歌曲入門 西洋音楽との出会い」</p> <p style="text-align: center;">河野 克典</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 70%;"> <p>西洋音楽を取り入れて150年が経ちました。音楽はいろんな形で役割を果たしてきました。日本の音楽、歌曲はどのように変化してきたものか、芸術歌曲としての歴史を演奏とともに探っていきます。</p> <p>※講師プロフィール</p> <p>山口県出身。東京芸大、同大学院で学んだ後、ドイツ政府給付留学生としてミュンヘン音楽大学で学ぶ。ジュネーヴ国際コンクール、ヘルトゲンボシュ国際声楽コンクール等で入賞。長きにわたるヨーロッパや国内での演奏活動のほか横浜国大名誉教授、東京藝術大学等の講師として後進の指導にあっている「山口ふるさと大使」を務める。</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;">  </div> </div>
<b>会場：サンパール荒川 3F 小ホール 時間：午後2時より</b>	

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (7・8月) ◆◆◆◆◆

- |  |   |
|--|---|
| <p>7月 3日 常任理事会・役員会<br/>          アクト21にて</p> <p>17日 講師会<br/>       ふらっと日暮里にて</p> | <p>8月 3日 陶芸教室 日程表作成<br/>          (R7年度教室清掃依頼用)</p> <p>21日 広報委員会</p> <p>29日 シルバーだより 401号作成</p> <p>30日 学園祭打ち合わせ<br/>       企画・施設部他</p> |
|--|---|



※事務局だより※

・8月8日、宮崎県沖で発生した震度6弱の地震を受けて、気象庁は史上初の南海トラフ地震臨時情報として発表し、「巨大地震注意」の文言が日本中にあふれました。熱中症警戒アラートの発表と重なり、ことさらに一人住まいの皆さんの不安はいかばかりかと案じる忘れられない夏休みとなりました。

・早くも事務局は、令和7年度の講義日程作成の時期に入ります。変更又はご希望などがございましたら、9月中に事務局へお申し出ください。

■令和6年度の学園祭開催は下記の通りです。

期日：11月22日(金)～24(日)

会場：町屋文化センター

(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>



9月16日

事務局 田原